

会 議 録

第5回定例会

開会 平成27年6月2日

教育委員会会議録

1 開 会 平成27年6月2日 午前10時

2 閉 会 平成27年6月2日 午前11時

3 出席委員

委員長	松重 和美
委員	田村 典子
委員	坂口 裕昭
委員	三牧 千鶴子
委員(教育長)	佐野 義行

4 出席者

副 教 育 長	木下 慎次
教 育 次 長	栗洲 敬司
教 育 戦 略 課 長	酒巻 英紀
特 別 支 援 教 育 課 長	久保田 勝己
教 育 文 化 政 策 課 長	加藤 弘道
文化の森振興本部企画振興部長	松永 隆
教 育 総 務 課 長	勢井 研
教 育 総 務 課 副 課 長	檜本 晃一

[開 会]

委員長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

委員長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

委員長 会議録を承認する旨を告げる。

[教育長報告]

教育長 5月臨時県議会における質疑の概要について報告する。

[議 事]

委員長 議案第15号を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

委員長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《報告事項1 徳島県中学校文化連盟の設立について》

委員長 報告を求める。

教育文化政策課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

委員長：この連盟は自発的にできたのか。

教育文化政策課長：そうである。これまでは各地域やブロックごとに発表していたが、全県的な取組がなかった。学校現場には生徒の発表機会の充実を図りたいという思いがあった。

委員長：小学校にも文化連盟はあるのか。

教育文化政策課長：小学校にはない。中学校も全国的には少なく、本県が19番目である。県レベルの中学校総合文化祭をしているのは11県である。

委員長：高校はどうか。

教育文化政策課長：徳島県高等学校文化連盟が30年以上前からあり、県総合文化祭

を開催している。本県から近畿総合文化祭、全国総合文化祭にも派遣している。

委員長：中・高の連携はあるのか。

教育文化政策課長：今後どのような連携ができるのか模索していきたい。

《協議事項3 平成28年度徳島県立特別支援学校高等部入学者選抜制度の基本方針について》

委員長 説明を求める。

特別支援教育課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

田村委員：特別な支援を必要とする生徒は増えてきていると思うが、受検者数はどうなっているのか。

特別支援教育課長：増えている。

田村委員：生徒は多様化しているが、先生方は大変でないのか。

特別支援教育課長：教職員の専門性向上に向けて、総合教育センターでの研修や校内研修の充実に努めている。

田村委員：支援が必要な生徒には、環境によって変わる生徒もいると思うが、そのあたりの推移はどうか。

特別支援教育課長：小学校は7.7%、中学校は4.0%、平成18年度高校調査では2.6%で、学習の過程を経て落ち着いてきている。

委員長：子供の全体数が減っているのに、比率としては増えているのか。きちんと明確な対応をいただいたので、増えてきたというのもあると思う。

教育長：保護者の意識も変わった。専門的な支援を受けることで将来も明るくなる。障がい特性や広汎性発達障がい等、理解されやすくなった。

三牧委員：支援学校の高等部を卒業した後の状況はどうか。

特別支援教育課長：今年の就職状況は30.5%で、就職を希望する164名中50名が就職した。年2回の就業体験を実施後、就職に向けて進む。その他、施設の通所・入所等に進む生徒もいる。

委員長：就職については、社会全体でどう支えるかが大切。就職できなかった生徒には、どのような対応をしているのか。

特別支援教育課長：障がい福祉サービス事業所等を活用している。

三牧委員：一般の高校もいろいろなところと連携して就職を進めているが、支援学校

でも行っているのか。

特別支援教育課長：行っている。

委員長：みなと高等学園の不合格者はどうなっているのか。

特別支援教育課長：不合格になった生徒は12名。そのうち10名は特別支援学校、1名は高校へ進んでいる。もう1名は過年度生で把握していない。

委員長 協議事項3を議案第18号として付議してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

委員長 議案第18号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

委員長 議案第18号を原案どおり決定する旨を告げる。

《協議事項1 平成28年度徳島県立中学校入学者選抜制度の基本方針について》

委員長 説明を求める。

教育戦略課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし。

委員長 協議事項1を議案第16号として付議してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

委員長 議案第16号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

委員長 議案第16号を原案どおり決定する旨を告げる。

《協議事項2 平成28年度徳島県公立高等学校入学者選抜制度の基本方針について》

委員長 説明を求める。

教育戦略課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

田村委員：選抜資料にある自己申告書とはどのようなものか。

教育戦略課長：特に欠席の多い者について、その理由等高校に理解してほしいことを志願者が記載して提出するものである。

田村委員：入試でも芸術やスポーツに力を入れているが、部活動以外の活動について評価が低くなり、不利になることはないのか。

教育長：中学校の部活動にない分野でも、客観的資料に基づいて評価している。

教育戦略課長：詳細は、7月に各校で作成する「生徒募集案内」に記載する。

田村委員：音楽分野では県外へ習いに行っている生徒もいる。能力のある子が県外に流出しないように、高校側が把握する方法があればいいのだが。

委員長：いろいろな分野で世界レベルの子供もいる。その子を県内に残すためには、受け皿をどうするか、学校だけでは施設や指導者など難しい面もある。

委員長 協議事項2を議案第17号として付議してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

委員長 議案第17号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

委員長 議案第17号を原案どおり決定する旨を告げる。

[非公開]

《議案第15号 徳島県文化の森各館協議会委員の任免を教育長の臨時代理により決定したことの承認について》

[閉会]

委員長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉会 午前11時